

広島大学 平成18年度CSI委託事業成果報告

HiR (広島大学学術情報リポジトリ)
と
HARP (広島県大学共同リポジトリ)

広島大学図書館

尾崎 文代 <fozaki@hiroshima-u.ac.jp>

お話しすること

1. 広島大学学術情報リポジトリ (HiR)

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

- コンテンツ収集
- 利用促進活動
- E-repositoryユーザ会

2. 広島県大学共同リポジトリ (HARP)

HiR コンテンツ収集

主なコンテンツ	内容	件数 (2007.6現在)
学術雑誌論文	Scopus等から抽出・提供依頼	1,002
博士論文	9研究科長個別訪問依頼 過去5年分の調査諾依頼	103
科研費報告書	過去5年分の研究代表者へ許諾依頼	115
学内刊行物 (紀要等)	編集委員会へ規程整備の働きかけ、バックナンバーを電子化	3,967(件) 47(誌)

HiR 利用促進活動

- 学内教員向け
説明会15 教官個別訪問9 個別メール1,174
- ワークショップ等での報告 17
- ワークショップ開催
「学術情報の新しいチャンネル」(2006.8.28)
- アドバイザー制度
-著作権ほか
- OJT (3大学)

E-repository ユーザ会

- 千葉大・大阪大・島根大・広島大の4大学間で設立(代表:大阪大)
- 情報共有・機能改善提案・業者へ共同交渉
- 18年度の改修点
 - JuNii2対応・統計機能追加
 - 主題・部局別ブラウジング
 - メタデータ画面のタイプ別カスタマイズ
 - ナビゲート機能追加

[Back](#)

広島大学学術情報リポジトリ: 立ち上げから今後の課題まで

Author

[上田, 大輔](#), [尾崎, 文代](#)

Bibliographic Citation

図書館雑誌 Vol.100 no.10 page.682-684 (200610)

**Keywords**

機関リポジトリ, 大学図書館

URL

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00015060>

Fulltext URL

http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/metadb/up/81936204/toshokanzasshi_100_682.pdf

Total Access Count:

1451 times.

**Search
Related Materials in**

Google Scholar ▾

- 機関リポジトリ
 大学図書館

Search

広島県大学共同リポジトリ

構築実験プロジェクト HARP

(Hiroshima Associated Repository Project)

- 共同IR・・・共同運営とすることで予算・技術上の諸問題を解決し、小規模大学においても自機関のIR構築が簡便にできる。
- 勉強会(18・19年度)を開催し、システム構築・運営上の知識を蓄積・共有することで、共同IRの構築を目指す。



HARPこれまでの活動

2006.6	広島県大学図書館協議会加盟館にアンケート調査
2006.10	同加盟館へ呼びかけ 第1回勉強会開催(8大学13名参加) -概要・システム・著作権講義と計画協議-
2006.12	実験サーバ(Dspace)立ち上げ
2007.1	実験サーバ(XooNlps)立ち上げ 第2回勉強会開催(9大学15名参加) -コンテンツ収集講義・登録実習・計画協議-
2007.6	第3回勉強会開催(9大学16名参加) -登録実習・プラン策定・計画協議-

課題 1：先の見通し

自発的な勉強会(オーサライズなし)から出発



実験終了後はどうするのか？



実験の成果を**広島県大学図書館協議会**へ報告し、
正式事業としての承認を求めよう。

広島県大学図書館協議会

加盟館 25： 国立1 公立3 私立16 短大4 高専1

主な事業： 研修会・講演会

課題 2：運営体制

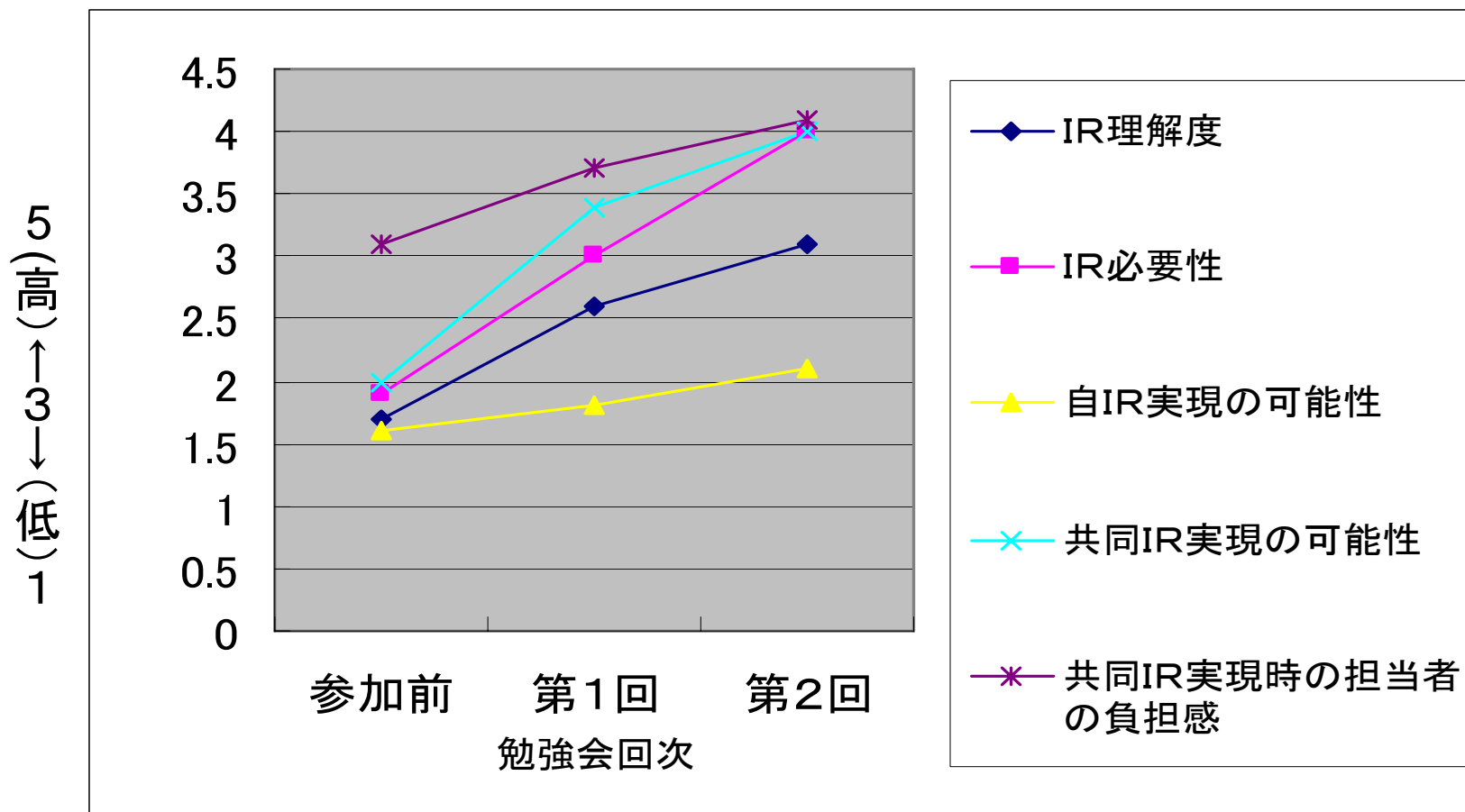
- 広島県大学図書館協議会正式事業として委員会を設置
- 専用サーバ(DSpace予定)
- 保守費・サーバ更新費は参加館で分担

2007.7.5 総会へ提案

課題 3 : コンテンツ

- まずは紀要中心で
 - 編集委員会との交渉
- 理工系・医学系は学術雑誌論文も
- 教材
- プレゼンテーション

参加者の意識変化～アンケートから



共同IRへの懸念・不安

- 運営体制の確立・維持
 - 費用分担・入退会の煩雑さ
 - 輪番管理の場合の対応
- 参加館間の温度差
 - 業務の優先度
 - 教員の認識度
- ランニングコストの確保

共同IRへの期待・実現したいこと

- 単独ではできないIRの構築と情報発信
- 内容の充実・共通テーマなどの収集
- 学内出版資料電子化へのファーストステップ
- 共同IRを核とした
大学間の連携・結束の強化

今後の活動スケジュール（予定）

2007.7	<ul style="list-style-type: none">• 広島県大学図書館協議会総会提案• 委員会設立 一体制・システム・保守等検討• 学術ポータル担当者研修受講（3名）
2007.9	<ul style="list-style-type: none">• 平成19年度広島県大学図書館協議会第1回研修会 — 普及活動スタート —• 私立大学図書館協会総会西地区大会で報告
2007.10	<ul style="list-style-type: none">• 平成19年度広島県大学図書館協議会第2回研修会 — 著作権関連 —
-2008.4	<ul style="list-style-type: none">• 稼働準備
2008.4	<ul style="list-style-type: none">• 本稼動

ご清聴ありがとうございました。

